

単元名 1 学びをひらく ー情報を的確に聞き取る

配当時間 1時間

- 単元の目標 (1) 情報を正確に聞き取り、要点を押さえてメモを取ることができる。
 (2) 聞き取った話の語句の意味を的確に捉えることができる。
 (3) 意欲的に話を聞き、メモを取ろうとする。

標準的な展開例

10210104_001

【準備等】国語指導CD「担任の先生の話」，再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモを取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で情報を聞き取ってメモを取る場面や、小学校での既習事項を思い出す。 本時の学習課題をつかむ。 ★情報を的確に聞き取ろう。 先生からの連絡(p. 30)を聞き、メモを取る。 聞き取った内容を確認め合う。 メモの取り方のポイントを確認する。 「上達のポイント」(p. 30)を意識しながら、「放送委員長からの連絡」を聞く。 情報を的確に聞き取り、ポイントを意識して、要点を押さえたメモが取れたかを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や家族がメモを取りながら電話で話す場面や、小学校で「伝言すること」「インタビューすること」などの学習において、メモを取った場面を思い出させる。 国語指導CDなどを活用し、実際の音声を聞かせてメモを取らせる。 聞き取りメモは、自分で工夫するように伝える。 隣の生徒と見せ合い、内容の過不足やメモの取り方で工夫した点について、気付いたことを話し合わせる。 「メモの例」(p. 30)を参照させ、気付いた点を出し合わせる。 自分たちのメモと比べさせる。 【評】情報を正確に聞き取りメモを取る活動を通して、「知識・技能」を評価する。 「上達のポイント」(p. 30)を確認させる。 国語指導CDなどを活用し、聞き取りメモを取らせる。 自分の聞き取りメモを「上達のポイント」(p. 30)に照らし合わせながら読み返させ、間違いや過不足を確認させる。 工夫された生徒のメモ例をいくつか提示し、参考にさせるとよい。

【 備 考 】

中学校における本格的な国語の学習の最初の段階である。この単元では小学校で身に付けた国語の力を確認させることが大切である。そのため、親しみやすい内容の物語を読むことを通して、中学校での国語の学習範囲や学習方法などへの見通しをもたせたい。

「シンシユン」は他者との違いを認め合い、それぞれの立場を尊重していく内容となっている。これは道徳のB-(9) 相互理解・寛容にあたり、これを機会に級友との仲を深めさせたい。本教材は、中学校の国語学習において情報編集力を育成することをねらった最初のものである。領域としては「知識・技能」に当たるものの、ここでの学習を、説明する力の基盤として捉え、「思考・判断・表現」の領域にも反映させることを念頭に置いて指導に当たりたい。

「情報を整理して書こう」では、物事を説明する場合に「観点」があることを意識させ、情報を収集する力を育てる一歩としたい。「観点」を明確にすることで、取材する際に情報が分類整理しやすくなり、目的や相手に応じて何を語るべきなのかがはっきりとするように工夫させたい。

また、日常生活で行われる情報の伝達は、整理された分かりやすいものばかりでは決してなく、様々な情報が雑多に届けられる中で、自分への必要度に応じて語句を書き取らねばならないときもある。そのため、「情報を的確に聞き取る」では、自分にとって必要な情報を的確に聞き取る練習をして、実用的なメモを取り、生活に生かせるようにすることが重要である。「情報整理」を通して、様々な事柄を真剣に考え、知識や理解を深めることで、言葉の力を鍛えていきたい。また、情報を多角的に分析し、根拠に基づいて判断することで、論理的思考力を育てていきたい。

「漢字の組み立てと部首」では、漢字の学習に苦手意識をもっている生徒にも、中学校での学びに希望と期待をもたせたい。小学校で履修した漢字の成り立ちを振り返らせる活動でなぞなぞに取り組みさせるなど、意欲的な活動の工夫を考えていきたい。また、「形・音・義」の体系を成して組み立てられている漢字の系統性に着目させ、漢字の成立や発展に着目した歴史的文化的な視点を中学生にもたせることも大切である。

季節のしおり「春」(適時)